

10月も今日が最終日となりました。ずいぶんと寒くなりました。我が家の庭にわずかに残ったコスモスも、最後の力を振り絞り、懸命に命を燃やしています。

その姿は、文化祭を目前に控え、体調を崩しながらも、本番の舞台で輝きを放つため、必死で練習に取り組んだ皆さんの姿に重なりました。今日も、体調が万全でなかった人が少なからずいたこと、よくわかっています。そんな状況の中でも、目の前の皆さんは、本当によくがんばりました。

これからお話しするのは、大好きな飯豊中生全員に送る明日への**手紙**です。

拝啓、12、13、14、**15** いずれかの**君へ**。

よく**大切なもの**は、目に見えないと言われます。しかし、みなさんは、その目に見えないものを、自分の心で一生懸命感じとろうとしてくれました。例えば、指揮者や伴奏者の陰の努力。今日まで、どれだけ、緊張したことでしょう。何度頭が真っ白になったことでしょう。こんなに練習してきたのに、なぜ合わないのか、うまくいかないのかと、思い悩んだことも少なくなかったことと思います。学校だけでなく、私たちが目にしないところでも自主練習している姿、そして、それをあたたかく見守り励ましてくれる家族や仲間。そのおかげで、みんな精いっぱい、歌声を響かせることができました。心から感謝したいと思います。ありがとう。

また、クラスや学年のリーダーの**がんばり**。合唱に本気になれない仲間を前に、たとえぶつかり合っても、責任を持って行動し、最後まで仲間を信じてくれました。その勇氣ある行動によって、クラスや学年は、**確かな絆**で結ばれていきました。本当にありがとう。

そして、言うまでもなく、文化祭全体の企画と運営を行ってくれた**実行委員**の皆さん。全校生の思いを大切にしながら話し合いを重ね、制限や制約も多い中で、心のこもった取り組みを進めてくれました。文化祭だよりの発行が、3号、4号と増えるにつれ、文化祭に向かう全校生の思いが高まっていくのが実感できました。苦しい立場で、最後までやり抜いた姿に心から感謝します。ありがとう。

これから先も、私たちは、今紹介したような、**理解ある、責任感の強い仲間の姿**に支えられながら、一人ひとり、**僕のこと**、わたしのこととして、それぞれの人生を歩んでいくこととなります。文化祭の終わりが、また**友**と再び、**旅立ちの時**に向けて、歩みを進めるスタートとなるのです。

今回の行事で、みなさんを大きく成長させた、縦割りの中間発表会。先輩、後輩の姿に互いに刺激をもらい、学び合う、実に意義ある活動でした。特に、先頭に立って力強く後輩を導き、指導してくれた3年生の姿は、さすがでした。また、声変わりした2年生の堂々たる歌声と的確なアドバイスにも確かな成長が感じられ、嬉しくなりました。そして、1年生も、ひた向きに活動に取り組む中で、中学生になって半年余りとは思えないような合唱の高まりと**団結力**が見られました。

飯豊中生全員が、8月の運動会同様、合唱コンクールに**翔ける川**らぬ闘志をみなぎらせ、それぞれの課題を見事に克服することができました。

さて、人生のゴールはどこなのか、今自分はどこにいるのか、どこまで頑張れるのか、誰もが不安を抱え、何かに怯えながら日々を生きています。些細なことで悩み、もがき、寂しさに押しつぶされそうになりながらも、「実はみんなも同じなのではないか」と思い直し、仲間や家族から温かい**YELL**をもらいながら人生を歩んでいます。一人ひとりから見える景色は違っていても、青すぎる春を生きている皆さんの苦しみや葛藤は同じです。確かに辛い、でも、自分の成長をより実感できるのは、そうした逆風の中であることを、一番わかっているのも皆さん自身でしょう。自分の心の翼を広げ、逆風を浮力に変えて、世界中の空間と時を旅する幸せの**青い鳥**になってください。大切な仲間である**君をのせて**、地球の隅々にまで、**HEIWAの鐘**を響かせることができるように。

最後になりますが、今日一日、本校生徒と一緒にどきどき、わくわくしながら合唱や美術部、吹奏楽部の発表や演奏を温かく見守り、ご声援いただきました全校生ご家族の皆様にも、また、**審査委員**をお務めいただきました土屋ユミ子先生に、心から感謝を申し上げ、挨拶いたします。